

のびる 松っ子

～明るく 楽しく 前向きに～



令和4年12月23日
大村市立松原小学校
学校だより No.19
文責：校長 永富伸介

2学期終了



今日で97日に渡る2学期が終了しました。始まってすぐに台風の影響による臨時休業がありました。加えて長い残暑に、変わらぬ新型コロナウイルスの影響と私たちの力ではどうすることもできないことが続きました。それでも、海洋学習や宿泊学習、修学旅行に社会科見学、そして創立150周年記念式典など、予定していた教育活動を計画的に行うことができました。こうした日々の経験の積み重ねで子どもたちは日々成長してきたと思います。これも保護者の皆様の御理解と御協力のおかげです。本当にありがとうございました。

さて、明日から17日間の冬休みとなります。休み時間に子どもたちと話をしていたら年末は餅つきをしたり、にごみをつくったりする御家庭が多いようですね。日本ならではの年末年始を過ごすことで新しい年を新しい気持ちで迎えられるといいですね。

とにかく健康に留意して1月10日(火)の始業式をみんな元気に迎えられるようにしてほしいものです。2023年(令和5年)は卯年です。うさぎ年とも言いますね。卯年だけに卯(う)れしいことがたくさん年になりたいものです。

本年も大変お世話になりました。皆様よいお年をお迎えください。年が明けたら、いよいよまとめの3学期となります。来年も本校の教育活動に変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。



人権集会

12月7日(水)は人権集会でした。12月4日～10日までは人権週間。そして12月10日は「人権デー」です。松原小学校は感染防止対策を講じつつ、体育館に全校で集まって行いました。これも松原小学校のよさの一つです。大変ありがたいことです。

私は跳び箱が苦手な小学生の作文を紹介し、最後に子どもたちにあなたは「(友達の失敗を)笑う人ですか?笑うな!と言う人ですか?頑張れ!と言う人ですか?」と投げかけました。苦手なことにチャレンジをしている友達を見守ったり、励ましたりできる「やさしい子」になってほしいと願っています。

子どもたちの作文発表にも「思いやりの心」「勇気」「ふわふわ言葉」「相手の立場を考える」といった言葉がちりばめられていました。冷え切った体育館の冷たさを忘れさせるような心温まる雰囲気にも包まれ、人権について考える貴重な1時間を過ごすことができました。



シュガーロード事業

皆さん御存知のように松原地区は旧長崎街道の宿場町であり、かつては、出島から砂糖の往来もありました。体験や講話を通してシュガーロードゆかりの学校の子どもたちに、歴史と文化を伝えていこうという大村市のシュガーロード事業があります。11月14日(水)には、5・6生が、松原地区の食生活改善推進協議会(食改さん)の御協力を得た大村寿司作り体験と砂糖伝来についての歴史を大村市学芸員の山下さんにお話していただきました。めったにできない経験から学んだことは多かったようです。ありがとうございました。



花いっぱい運動(育友会)

12月15日(木)の午後、育友会の研修環境部の皆さんがたくさんのプランターにパンジーなどの花の苗を植えてくださいました。本校用務員の田崎さんの準備もあって温かい日差しの中、短時間で作業を終えることができました。春には色とりどりの花が松原小を明るい雰囲気包むことでしょう。御多用な中、御協力いただきありがとうございました。



襟を正して…

皆様、御存知のように、学校や教職員に関わって、子どもたちや保護者、地域の方の信頼を裏切るような出来事が報道されることが度々起こっています。私たち松原小学校でもコンプライアンスの遵守については研修等の取組を行っています。長崎県教育委員会、大村市教育委員会からの通知には、「教職員は個人の携帯電話等で保護者と私的な連絡を取らないこと」とありますが、ここに今回は、「児童生徒、保護者に対しても教職員と私的な連絡を取らないように周知すること」と追加されました。このようなことは初めての事です。保護者の皆様にお知らせさせていただくとともに、御理解と御協力をお願いいたします。

職員玄関に門松が登場しました。これも用務員の田崎さん作です。門松を眺めつつ、我々も襟を正していきたいと気持ちを新たにしました。

